



白石町立有明西小学校 学校だより児童数 106名  
 令和7年度 第49号  
 令和8年3月10日

# にしきえ

(長子配布)

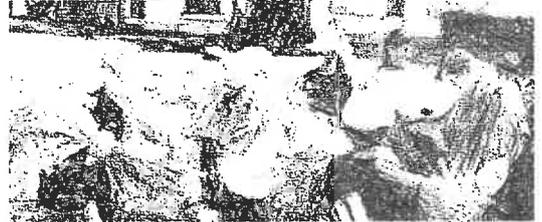
閉校記念キャラクター



人との関わりを大切にしながら、よく学びよく遊ぶ、幸せいっぱいの西小っ子  
 ~新たなスタート2026へつなごう“にしきえの心”

## 感謝、感謝 この学校を支えてくださった全てのみなさまへ

本校は、地域、保護者、関係者のみなさまに支えられながら歩んできました。日々の見守り、行事への協力、何気ない声かけの一つ一つが、子どもたちの安心と成長につながっています。この学校で育まれた学びと絆は、校舎がその役目を終えても、決して消えることはありません。みなさまの思いとともに、子どもたちは次の学校へ、そして未来へと羽ばたいていきます。



## 温かいまなざしに見守られながら・・・登校見守り活動のみなさまへ

### ～朝の道 見守る笑顔に 春近し～

日々の登下校の見守り活動にご尽力いただき、心より感謝申し上げます。子どもたちが安心して学校に通えるのは、地域の皆さまの温かなまなざしと支えがあってこそです。交わされるあいさつや笑顔は、子どもたちの心を育て、学校と地域をつなぐ大切な力になりました。心から感謝申し上げます。



## 放課後の安心安全のために・・・学童保育「もみじ」の先生方へ

### ～放課後の 笑顔つなげる やさしさよ～

20年間にわたり子どもたちを温かく見守り支えてくださった学童保育の先生方に、心より感謝申し上げます。授業が終わった後も続く子どもたちの生活の場において、安全と安心を第一に、励まし、寄り添い、成長を後押ししてくださった日々は、子どもたちにとってかけがえのない時間でした。ありがとうございました。



### 白石中学校卒業式

3月6日、第2回白石中学校卒業式に出席しました。188名の生徒が巣立っていきました。幸せいっぱいの人生になるように願っています。卒業おめでとうございます！



## 閉校記念品を展示しています

現在、閉校記念品を職員玄関棚に展示しています。きれいな飾りも作っていただきました。事務支援員の先生、ありがとうございました。



## いよいよ・・・ですね

いよいよ、本校最後の卒業式、そして、閉校式、最終引っ越し作業等、閉校と開校に向けて、大切な「いよいよ」がせまってきました。

私事ですが、私にとっても「いよいよ」です。11月には、全校の子どもたちや先生方から、還暦を祝っていただきました。感激、感動、感涙でした。一生の思い出になりました。ありがとうございました。

下の文章は、校長役職定年を迎える今の気持ちについて執筆依頼があり、作文したものです。（役職定年とは、一定の年齢に達した管理職がその役職を退く制度のことです）本当にいろいろな方にお世話になりました。ありがとうございました。

### 「出逢いに感謝して」

校長として最後の任地となる有明西小学校は、本年度をもって、149年の歴史に幕を下ろし、閉校を迎えます。その節目の2年間に校長として勤務できたことは、私にとって大きな巡り合わせであり、かけがえのないご縁であったと感じています。

閉校は、地域の方々や子どもたちにとって大きな出来事です。校舎に刻まれた思い出や運動場に響いた歓声、卒業生一人ひとりの歩み、それらが積み重なって「学校の歴史」となってきました。その歴史をどう次世代へつなげるか、校長として常に心掛けてきました。地域や保護者の皆様、そして、子どもたちと先生方が一体となり、「西小ありがとう、さようなら」という温かな思いで、この2年間、幸せな日々を過ごすことができました。

特に最終年度を共に歩んでくださった先生方に、心から敬意とお礼を申し上げます。閉校という重みを前にしながらも、子どもたちの幸せを第一に考え、互いに励まし合いながら力を尽くしてくださった姿に、私は幾度も勇気をいただきました。先生方と共に、子どもたちを送り出したことは、何よりの誇りです。

そして忘れてはならないのは、私を支えてくれた家族の存在です。学校に心を注ぐことができたのは、陰で見守り、時に励まし、静かに背中を押してくれた家族の理解と協力があったからこそだと感謝しています。

「幸せとは特別な日々にあるのではなく、出逢いを重ねる日常の中にある」。この言葉を胸に、閉校の寂しさを超えて、これまで出逢えた全ての人、そして、家族への感謝と幸せを抱きながら、新たな一歩を踏み出してまいります。

